

[illegible]

權を皇帝に復さんとするものなり故に國家の總ての
 是れを革命掉換の爲め吾人に一任す革命團體は最

此の如く聯合隊の主眼せる民族

大して輕からざる也尙ほ獨映の

支障なきものとの見解を持し

要商品の騰落状況を聞くに左

に於ける帝國軍艦も亦引揚ぐ
必要益々緊要につき左るこゝ

きやの風説あるも此際居留民保
して（東京特電）

外の結果を呈せり旅客貨物東西
管に次ぐは名古屋を主とする

義亦、遂に平和主義に非ざるを

ホルワツト將軍

◆ 孤影 依然北京に往く
 以前は飛来鳥も落した東洋鐵道長官の

○ホルワツト夫人はまた四拾を
送つた年ながら非俗に若々しい美
人でむかしから評判の婦人であつ
たといふ。茶色の毛皮の襟巻で白
い華やかな顔を保ちながら支那人
の服を着て買物に出かけた時
の光景は、茶色髪が髪に密着す
るの吉林兵によつて過激派を壓へ
た。それで東滿洲に於ける露國の
勢力は今や地に墜つた。將軍は
昔目の將軍でなきは勿論である
○ホルワツト將軍は日露戦争の時
から略奪の權力を有つて居る人

も能きる男で、東清鐵道の古親だ」と噂する人があつた。それから一行は哈爾濱の軍管區司令官サモイロフ中將、東清鐵道の經理部長アストロフ氏など總員六名であつた。○將軍の這次北京行きは什麼意であつた、それで革命當時コンダ

◇ホルワツト將軍の北京行きは
 隊の旅行であるが、將軍は北京に
 ばて、國公使と會見し、種々の協議
 を試みるが、北京で支那政府との
 間に交渉のなきは奉天驛の滯し
 い出迎者で推察せらるゝといふ人
 もあつた
 歸つたら大體なめに逢ふといふ人
 である

土として東清鐵道經濟上の獨立を將軍自身の現地位を保つことの協定であるが、最近の哈爾濱電報によれば、ザイカ州の首府チタム過激派の聲中に歸したとある。使は一切將軍の手から仕送りを受けて居るといふ。

ある使命を帯びて北京へ
——東洋鐵道長官ホルワント將軍——

●外相重要外交伏奏



中心を走り出しました、西坊君大得意になつて橋の上ではねたり大よろこび。

三つの内橋は風の工合で反對の方角へすべつて行く、此頃大分
かになつたので所々に氷のうすい所もあつた、凸坊君、そんな
には一向おかまひなし、橋は愈々勢よくすべる、其の内連々
はぶち割れて凸坊の橋はデヤブン、ワァー、其の時庭で鶏が
いて凸坊は眼をさました、凸坊君の造つた橋はまやんご村
に置いてありましたとぞ。

過激派の勢力は遂に東漸の憂
ある阿波瀨川には反過激派
領袖ミヨノ大佐が居るが
は彼等と提携して過激派の勢
勢を打ちあう

○満鐵貨車脱線
二十三日午前十時十分、滿鐵本
花家屯大屯間に三十四號貨物
車二輛と同乗關車一輛脱線し爲
に上り一列車と下り一列車とは

今日、の北滿洲にそりて非常に
ある問題である（東天）

田中省三氏
連行さる

大坂二割値上
大坂醬油商は一齊に二割の値上
を爲せり（大阪特電）

醬油

女子技藝學校
 展覧會
 成績品一千三百五十
 品
 女子技藝學校の展覧會は、
 通期二十三日の午後一時から

山を有し、黒船菜をも密に居れり
 (大船電)
 四議員收監
 京都市演劇事件
 第一に目をつけるのが例の華身大
 人形の目付けを
 第一に目をつけるのが例の華身大
 人形の目付けを

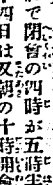
市會館岡村、吉見、菅、林
 員は廿三日夜遂に京都監獄
 左の手に持たせられた方がよかつ
 ばなどい若い人の會話が聞か

學博士の安樂生活法に憤つて、
伯爵夫人の贅容を間接となつた
に此の時彼女は見事に伯爵夫人
掌中のものとなつて居た伯爵夫

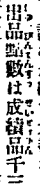
茶飯一椀（一）とて（二）五更（三）に
 卯二つ乃至魚肉片ヒラ（四）
 一回

行つた。それでは、
 料が暴騰して、思ふ程に出来
 かつたのか。土居の主人で、
 永道長官、關屋事務局長、上田視
 官を始め、當校監督の位置にあ
 る。四時が五時半に
 び二十四日は又朝の十時開會を

了。居た。何れも、其時から、獨
 美人幽蘭の飛込んだ瑞西ベルン



昨年から訪めかけて大連五人衆
 呼んだ出品點數は成績品千三百
 十一點賣品二千六百五十九點
 年比べ外觀實質共に好成績
 示して居る



美人間諜 (三)

宛然動物園の様に見える
無象が日レーニンの情
婦がナイフを閃して

ユーロー公が目を付けた露西亞國の皇女を勸めて居たが、七太公に懇懇し太公の跡を追うなかつた殊に、
 人情的機微
 講和を實現せしむべく夫れ
 見の交換を行つたものだレーニ
 の如きは常に口に平和の聲を絶
 回五六回
 覺れて慰いて

「子供を褒めると御親孝に……」
「それにには子孫繁栄した！」

手のかかる低者を褒められる程親の身に取つて嬉しいものはない。それが假令お世辭であつても有頂天だ。「この機嫌をチャッ心で得て居て絶へず人々の家で」

刻々忙しげな顔をして来る子低が母親の手を引きながら出て来て、「母あやん、この小娘は貰つたの……」と云ふので「唯今は庭有難う御座いました」と

御禮を言からぬ何れ何れ

[illegible][illegible]

住來の時定めて訪ふ所
 來て夫人の一颯一笑を得よう
 と毎日時間を空費して居た其の
 大特別優遇法有希望者最近迄
 居住世にても爲し得る業務月収

外務社員募集

夫人に向つて本國獨逸から「
のこを第二段として講和促進
大日本勸業會社

慶平和が實する」と云つて居
 然し、此に對て極れりと云ふべ
 其後種々の人物を
 假託夫人に紹介したるが
 の説話や模倣や人物は片づ端天
 の手から伯林に飛んで行く事は

從事仕候
 京城廻問一丁目
 島崎病院
 院長 島崎龍一

「でも知らなかつた處が突然發に問題が持ち上つた大問題と云つは政治的問題ではなかつた其は一夜レニーの情婦がナイフを以て伯爵夫人を刺さんとしたハガキにて申越の方へ」

營業案内

無代雙星

年譜館會は二十五日(月)午後
後長谷川町明銀行集會所に於て開
せられし講師は
偉大なる求國民 丹羽清次郎君
修養と實生活 久保 要藏君
當者に茶菓を饗應し餘興として
池江女史の筑前琵琶ありと
大阪天滿橋北詰西入
無作遊三
西尾種子問屋
長谷川町四十五番
板橋大正一九五五
西尾實買
西尾實買

[illegible][illegible]

澤庵は 非常な文藝家、俳諧に
手馴れたもの。掘起へ何うも、と云ふ。
併に彼めたまふ日は来るしものゝ如く。
でですか。お前に召したら持参り下さ
るゝのも有りながら、と亭主。其尾に
「此の御馬、御馬成すかどうも何んて
亦の御馬、御馬月の聲を聞けども」
三抽籤 五十六回を口初。○局仕候
月十八日三月廿三日申時迄
六十八回

古著古洋服 諸物置陳賣
店に買入可仕候間多しに不揃ひ各品
又ハ古キにて御大第早速御電話
致可候。舊本賈交換等仕候
京崎木町二丁目

著者 課題は募集規定
 つた 明太子の別所りにほはる山になおま
 下 町職した云ふ、斯しにても有りさう
 だ 或人に臨つたのをいふ
 あはじや
 江頭衣服店
 本店 電話一三二五番
 支店 電話九一七番
 天

門の依頼招聘に應じ名譽の賞賛を博せり
 子に應じ李伯儒趙子綰宋子綰趙明爵且は大人各
 人豫言三箇
 宣通一箇
 觀理骨性用學會長觀理哲學士
 京坂本町
 山本旅館
 午後十時迄
 九時より
 定時間

運命豫言者 美馬天地眼

西洋家具 募集 山形村所 三十七

一服でキク
かぜねつ
婦人冷達薬
モリ
ミヤウ

守田の妙振出し

全是患風牙流行の眞最中!!
 ▼服めば直ぐキク風薬
 ▼中毒作用の無い風薬
 ▼何より一番コイ風薬
 ドコのクスリヤにもあります
 逆上●足版の冷感●海
 人希達諸病に大効あり
 定價 廿五銭拾五銭
 費用 安五銭拾五銭
 貳五銭拾五銭


東京上野池之端
(寛平太政)



午日台兵衛

▲耐火煉瓦 (三十番より三十四番)
▲シヤモツト煉瓦 (三十番より三十四番)
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター 其他耐火物各種

日清手箱
御座東京二九八五番



平壤橋口町(電話五五五番)
合資 京谷商店
營業時間
上午十時至下午五時
電話五五五番

[illegible]

◆三萬の戰友は今や僅に一萬◆
◆彼等(カミヤマト)は戰(いくさ)の友(とも)を失(うしな)うて悄(さび)然(しか)◆

此の大事業は如何に決行せられんか

◆満蒙補習學校の新計畫
◆長春滿鐵補習學校に於ては來
四月の所學別より二三の取寄座

捕虜病死者を出したれども
 皮ひ一般市民の年少徒弟のため
 將來事務員たるに必要な諸學
 問を習得せしむるに必要なり

一、實用作文、ペン習字等にし
在來珠算科、簿記科に云ふが如
たり彼等は最後の一人に成る迄も

飢寒に迫られ餓死するか然らざれば俱不戴天の神境に降らざるべからざる有縁となれるを以て茲に破乳を交つ特赦として主走つ時

◆上記は新計畫の一紙なるが同

其の理由、學校側が需要供給の
理によりて生徒の出席を希望す

、英語科一の各料生徒の負擔は
ケ月一斯授業料金五十銀に退ぎ

支人が一堂に會して露人教師より露語を學び年齡階級等に拘束せ

反對照の奇妙なるまゝに大口を開
きて發音の稽古をなし居る情景を
見るべき哉しき現しみを餘決して

大なる抱負は能く東洋人の及ぶ可

所在の米人等は最近滿蒙時局の變に伴ひて漸く據頭し來らんとす

最近二個の米人新計畫は已報の如く著々進行せんとしつゝあり。

に精採せる處に據れば資本金一千萬元米出資七割、支那出資三割と

主れるが其後幾分の下落を見た
 到る此の價下落すべき模様な
 併

日々五六十車を出でたために哈
 實に於ける特産物滯貨は日々非

品千六百車あり而して此の貨
過り減少は二三日來特別なる或
事情の下に生じたる關係もあれ

に手を引きしも猶ほ陰然その黒
に在りとの説あり而して其の代

母國より來りしもの也
元來この大豆取引事件は昨年來
後に紛擾を兼ね取引所長として

試みたるも成らざりし程の事件
を其の紛糾の程度推して知るべ
し。随つて今次の仲裁の判がいか

仲裁に於ける仲裁判斷に對しては法律上當事者に於て絶對服

松實同族の大見切賣ります切れぬ内之
 あれ遠方は男女年齢を記し申込まば代

英肥料造林請負
洋捕鯨株式會社特約販賣店

北条一門の秘蔵書



三包入拾磅五包入廿磅八包入三十磅
十五包入五十磅 三十二包入壹貳
大坂市堂島元硯橋

●各地到る處の藥店に販賣す

名には五十餘年所を主す
 何處も明記に願ふ▲宛名は
 報 社 文 庫

鴨綠江産良材を以て本社之建造する汽船、帆船、曳船
 漁船、船類は安全第一眞に海運界の最大權威たり

鴨綠江中之島

鴨綠江造船株式會社

資本金 四拾萬圓

本店 安東縣
支店 義州郡

設計の完全、建造の堅牢、價格の低廉は實に本社之
 三大特色なり！

花王石鹼は

遂に家庭語となれり

近來世間では品質優良にして

價格低廉なるものを指して

「花王石鹼のやうだ」とか又

は「家庭用には花王式が

好い」とか仰しやるのを屢

耳に致しますが是れ偏に品

質本位の花王石鹼が一般の御

家庭に於て久しく厚く御愛用を

蒙り其特長たる廉價の良品といふ

ことが最も善く了解せられて居る證據に外

ならず弊商會は之を光榮として

益々特長を發揮し

甚大なる御愛顧に

酬ゆる覺悟です。

元八號本日本會館
 店も代四番館石王花
 町土安販大
 會商組崎大
 会商組崎大

病を病まして強ての苦しみ、醫藥の手當は勿論盡あつて看護をする者までもございせん、日々衰弱して一命は旦夕に迫り、今にも知れぬと云つた、スルモ茲に牢葉の七兵衛といふ者がありましたが、**牢葉**を不意に思ひ、**十右衛門**も牢葉の氣の毒にあそばした大膽な罪を犯さねばならぬ、幸へたら込れたては病を病んでゐ、道つて呻吟て居るが、打拵つて置けば死んでしまふ、條も**結菜**さんの爲にはお世話になつたことがある故、せめても恩返し是を持つて行つて喰さして遣らう」と**桃**を一つ持つて登り牢葉の巾着を覗き込み、**七**「**結菜**さん、離れなさい一杯も飲みたいで口の中も乾き、水のいも叶かね、水の代りに此の**桃**を喰はたら咽喉をうるほして身熱の熱も冷るでせうから」と右の**桃**の中へ入れましたから、**結菜**は喜んで其の**桃**を食しました、其の爲か口

なきなるな、そんなに持つて来たね、**神**何か貴下にお願をしたい、思ひますが別に差上げる物もありません、**小刀**と**桃**の實を一つ持つて来て下さい、それへ何か彫つて條が記念として貴下に差上げたから、**七**兵衛は**結菜**の云ふ通りに**小刀**を持つて登りました、**結**

名を貸しよ、
信用ます、
厚き

高麗人蔘エキス
京都府明治町一丁目
小笠原大藥房
支店 大阪府西區市岡町二七

は牢内で**桃**の實へ何か彫らうと思つたが、役人の目にかゝてはなません故、役人々が睡しづまつるを見て牢葉の處へ來て月ののりて右の**桃**を「**コッリ**」と彫りつけた、然し日數も餘程かゝりまして、やう／＼に出来上つたのは、だといふに、**桃**の實へ六十六の痕を彫りましたが、**結**は手と

[illegible]

本藥は、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、

本藥は、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、

本藥は、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、

本藥は、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、

本藥は、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、

本藥は、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、
 作用の、凡そ體力強大には、其の効用が、

心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衛生薬

吹出物——婦人は顔より男よりニキや吹出物の多いのは見えないませんが、此薬は頑固なニキやを剥しても奇効を奏しますので信用を要する。

南京虫——其他家のある里に此薬を掛けましても、不論何な家庭には常備せられて置ります。

(定價特大瓶壹圓 中瓶廿五錢 小瓶拾貳錢)

（東京大阪）

發賣元 桃谷順天館



記事の内容 官報は附令、勅令、法律、勅諭、勅令、條約、軍令、制令、律令、閣令、省令、府令、町令、告示其他一切の法令を公布する機關なるに於て官公需料人何れに拘はらず必す之を公告せざるべしとの外務卿、叙位、叙勳任官及補職、官等、停轉其他の命令を地方官は呈進し關する官廷錄事の文書廷録事の件、帝國議會、地方行政の記事、在外公團報告、衆議院閣内外諸政黨等の事項を編輯して其外交官、外交部司法官、辯護士裁判所警察官の試験、學生生徒募集定款科用教員、學費減價費、諸官廳の購買、工事、地下、林野賣渡等の入札而營業及其他の入札の登記、產業、漁業、森林經理會社の登記、公示催告勸業及び貯蓄並其他の債券爲替並外國銀行郵便切替限、内外汽船出發表等諸般要緊の廣告あり殊に帝國議會開會中は貴族院、衆議院の議事速記録を號外として發行す。

法令全書 は毎月公布の法令を一括し印刷に付して翌月之を發行す。

職員錄 は毎年一回各官公衙に於ける官公職位階級等氏名俸給を録す併せて官制俸給令等の抜抄を掲げて發售す。

発行度數 官報は日曜日、大祭祝日、歲末、年初等の公暇日の外は日刊なり但し緊要慶宴なる事項は公暇日も雖も號外を發行して敏速なる周知に力む。

法令全書 は毎月一回（毎年一月分を第一號）**職員錄** は一年二回（大凡七月發行）三す。

購讀の申込 當局官報部發賣課へ左の事務を書きたる購讀申請書を送らるべし。

官報 は何年何月何日より又は何年何月分**法令全書** は何年
第何號より**職員錄** は何年發行と記すこと（行方は買可）
（大正六年發）

定價 官報は 箇月六十錢、一部三錢、號外は一部一錢（何れも郵税不要）

法令全書 は一部二十錢、索引（目錄共）も同價（郵送不要の分は四割を減すなり）**職員錄** は年により定價同じからざるにより發行毎に別に之を代售す。

金金の拂込 金は前金です拂込は郵便振替貯金に據らるゝを取りますす口座は「東京九〇〇〇番」なり拂込通知票裏面の通信文欄に記載を受くべき場所氏名内に購讀申込書に記載すべき事情を記入のこと但此處合には別に購讀申込書を送らるゝに及ばず右の外毎月一日發行の官報（外日はなれば次日）廣告部内に詳しく記したる發賣手續あり賜覽されし。

大正七年二月 印刷局 東京市西區有樂町一丁目

